

Promoting the Utilization of AI

- 1. Education-** 信頼の構築が肝要。人工知能の技術や仕組みの理解促進を支援し、フィクションに基づく誤解を解く。プライバシーや安全性の設定などユーザーが管理できるようになるための教育や支援が重要。
- 2. Engage-** 偏見の是正やアクセシビリティの改善、より小さなデータセットでも機能する機械学習の開発等の分野において、多様なステークホルダー（有識者、民間企業、政府、市民）が集い、安全でポジティブな人工知能の活用のために、知識やベストプラクティスを共有する。
- 3. Foster-** 人工知能の開発と活用をグローバルに進めて行くために、新興国も含め、日本がポジティブな国際規範をリードする役割を担う。
- 4. Focus-** 想像上のシナリオではなく、現実的で具体例に基づく安全性の議論に注力すること。また完全な透明性を求めるのではなく、説明可能性を重視する。
- 5. Facilitate-** 研究に対しての投資（特に多様なバックグラウンドを持つ研究者に対する投資）。また、教育支援や、将来の仕事において有益となる新たなスキルを身につけるための支援の実施。